

# 日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会

## 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく 研究(多施設共同研究) (02-056)について

当院では、日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究(多施設共同研究) (02-056)について臨床研究を行っております。

### 【対象となる方】

2000年4月1日から東京都立墨東病院で診断、治療を受けた婦人科腫瘍の方。詳細は下記の通り。

倫理申請の行われた当該年度において、臨床診断、切除標本や生検により病理診断された子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍の症例とし、再発腫瘍、転移性腫瘍は含みません。

### 【研究の目的及び方法】

日本産科婦人科学会主導研究として学会会員が所属する施設で、本事業の趣旨に賛同する施設を登録加盟施設とし、調査対象となる当該年度において、臨床診断、切除標本や生検により病理診断された子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍の症例をオンライン登録により収集します。統括施設は日本産科婦人科学会事務局です。当学会が収集されたデータを用い、1) わが国における婦人科癌(子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍)の進行期・病理学的分類, 2) 診断・治療の実態, 3) 治療成績(5年生存率), 4) 登録罹患数や治療指標などの年次推移, 5) これらの研究成果を患者や社会が利用しやすい情報として提供する方法等について解析・公表し、婦人科癌患者の状況を公に公表することで医療・福祉に貢献することを目的とします。また、本研究で得られた調査結果は、登録情報を活用することで今後、国際比較研究を行うことも可能です。わが国の婦人科癌及び婦人科癌医療の特徴と海外との共通点・相違点等を明らかにしてゆきます。このことは、今後ますますその必要性・重要度を増大していくものと考えられ、全国的な調査が必要です。

(2ページ目に続く)

この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、東京都立墨東病院倫理委員会の承認のうえ実施されます。そのデータを使用し、後方視的な婦人科腫瘍における解析を行う場合もあります。新たな人体試料は採取致しません。研究結果は、個人が特定出来ない形式で、学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。個人が判別できない状況で研究を行いますので、患者さんの個人状況が公表されたり、外部に漏れたりすることはありません。

上記の研究において、ご自身の診療情報が利用されることについて、ご同意頂けない場合には、お手数ではございますが、下記の研究事務局まで御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

**【研究機関名】**

東京都立墨東病院 産婦人科

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

対象患者への謝金はございません。

**【問合せ連絡先】**

東京都立墨東病院 産婦人科 松本陽子

住所： 東京都墨田区江東橋 4-23-15 電話：03-3633-6151（内線 5497）

Eメールでのお問い合わせ：[yokomatsumoto@mac.com](mailto:yokomatsumoto@mac.com)